

令和 8 年度
事業計画書

令和 8 年 3 月
一般財団法人 西日本産業衛生会

〈はじめに〉

令和 7 年から令和 8 年にかけての我が国経済は、長年続いたデフレ局面を脱し、「金利ある世界」が定着する中で、賃金上昇と物価高騰が併存する新たな局面へと移行しています。

高市政権の誕生により、成長重視および積極的な財政運営を基調とした政策方針が明確化され、経済基盤の強化が進められています。一方で、海外経済や金融政策を巡る不確実性は依然として残っています。

また、超高齢社会の進展により医療需要は今後も増大することが見込まれており、医療機関には持続可能性を見据えた経営対応がこれまで以上に求められています。

かかる中、当財団では、コンプライアンス委員会の設置、監査室の新設、内部監査手法の見直し、本部組織の業務分掌の見直しなどを行い、組織体制および内部統制の整備を進めてきました。これらの取組を踏まえ、令和 7 年度に 3 か年の中期経営計画を策定し、損益、設備投資、資金収支、採用および内部統制を含めた将来像を明確化しました。

令和 8 年度は、中期経営計画の実行初年度となります。持続的な成長を遂げるため、「業務標準化・効率化」「人的資本の強化」「信頼と安全性向上」「健全かつ適正な業務運営」を主要施策として位置づけ、取り組んでまいります。併せて、大分労働衛生管理センターの新築移転事業については、令和 10 年 4 月の完成に向け、計画に基づき着実に工事を進めてまいります。

①「**業務標準化・効率化**」については、労働力人口の減少を見据え、業務の標準化および効率化を進め、サステナブルな事業基盤の構築を図ります。令和 8 年度は、専門コンサル会社と連携し、あるべき業務フローの設計と立案を本部業務改善委員会と連携し取り組みます。あわせて、外来健診誘導支援システムや Web 問診を導入し、省人化と顧客満足度の向上を図るとともに、全施設で統一した業務運営により生産性の向上を目指します。

②「**人的資本の強化**」については、適材適所の人材配置による組織力の向上を目指します。令和 8 年度は、メンター制度の整備と次世代リーダーの育成を進めるとともに、職種ごとのキャリアデザインを明確化します。職員の資格やスキルを可視化し、計画的な育成と配置を行うことで、業務の平準化と効率化を進め、職員満足度の向上と離職率の抑制につなげます。

③「**信頼と安全性向上**」については、品質を最優先とし、信頼性と安全性を基盤とした事業運営を推進します。令和 8 年度は、医療安全委員会の年間目標設定や評価フォーマットの統一に取り組みます。各施設における取組状況やインシデント情報を共有・活用し、未然防止を重視した体制を構築するとともに、専門性を活かした価値提供の強化を図ります。

④「**健全かつ適正な業務運営**」については、コンプライアンス委員会を中心とした法令等遵守態勢の強化により、健全かつ適正な業務運営を推進します。令和 8 年度は、コンプライアンスプログラムに基づく PDCA を実践し、法令・規程・内部ルール of 遵守を組織全体に定着させます。あわせて、PMS 業務年間計画に基づく個人情報保護管理体制の強化や、施設内および施設と本部間の情報共有を徹底し、信頼性の高い運営体制の確立を図ります。

＜各事業における具体的推進計画＞

（計数計画については、別表（4～5 頁）のとおりです）

（公益事業）

（1）産業保健事業

全国有数の活動実績を持つ産業保健事業は当財団の特色であり、今後とも公益事業の中核を成す事業として推進していきます。令和 7 年度には 17 事業所と新たに契約を締結しました。

健診後の保健指導や特定保健指導、過重労働やメンタルヘルス対応への需要増加に対応するため、人材の確保と教育に取り組み、地域の職場環境向上に貢献してまいります。

（2）健康情報発信 他

① 当財団の健康情報誌として発刊している「まもる」については、紙面内容の充実を図り、年 3 回、年間 17 万部の発刊を通じて、健康情報の提供と普及啓発に取り組みます。

② 健康および労働環境に関するセミナー等を開催し、企業および地域住民の健康に関する普及啓発活動を行うとともに、健診受診の促進に努めます。

③ 健康診断結果の集計・分析を行い、健康管理の重要性を広く発信するため、「事業年報」の刊行を継続します。

④ 健康企業研究会「東田塾」については、産業医科大学等の関係機関と連携し、企業の健康づくりを支援する取組を継続します。

（収益事業）

（1）健康診断

健康診断事業は当財団の基幹事業であり、令和 8 年度も最重要事項として推進します。中期経営計画に基づく設備投資と連動し、各施設において需要や地域特性を踏まえた増床を計画的に進め、受入体制の強化と稼働率の向上を図ります。これにより安定的な収益基盤を確立し、質の高い健診サービスの継続的な提供につなげます。令和 7 年度の受診者総数は延べ 56 万人でした。

① 一般健診および特殊健診

法的に義務付けられている基本的な健診である一般健診（定期健康診断・雇入れ時健康診断）および特殊健診については、引き続き地域への情報発信を行い、受診率の向上に取り組みます。

② 協会けんぽ健診および生活習慣病健診

協会けんぽ健診については、令和 8 年度の制度改正を踏まえ、対象者への周知と受診計画の最適化を図るとともに、当財団施設間で連携しながら受診体制の整備を進め、事業者の利便性向上と受診率向上に取り組みます。生活習慣病健診については、引き続き啓発活動を行い、健診精度の向上と有効な指導に対応できる体制を整備してまいります。

③ 人間ドック健診

人間ドック健診については、令和 8 年度より協会けんぽにおいて新設される人間ドック補助制度を踏まえ、制度要件に即した実施体制の整備と受診案内の強化を図ります。また、従来どおり施設での外来健診を中心とし、設備・機器の更新に努めるとともに、各企業・団体・健康保険組合・共済組合のニーズに沿った、精度の高い健診の提供に努めてまいります。

④ PET 健診

北九州エリア初の PET 健診施設として PET 健診センターを開設して以来、令和 8 年度で 23 期目を迎えます。地域での認知度も向上し、連携医療機関からの依頼による保険診療を中心に、需要は安定しています。令和 6 年度には最新の PET-CT 撮影装置への更新を行っており、今後もがんの早期発見に努め、精度の高い健診を提供してまいります。

引き続き、地域社会からがんを撲滅するための取組に貢献してまいります。

(2) 環境測定

職場の作業環境の健全性の維持は、勤労者の健康保持に欠くことのできない重要な取組です。当財団では、労働行政および労働衛生関係団体と連携しながら、職場環境の改善と維持に取り組んでいます。北九州・大分の環境測定部門を一体運営し、全国トップクラスと評価される測定・分析精度の維持に努めるとともに、職員のスキルアップおよび分析機器の計画的な拡充を進めています。また、労働衛生コンサルタント業務を通じて作業環境管理・作業管理・健康管理を総合的に支援するとともに、作業環境測定士講習や各種技能講習を継続的に実施し、地域の労働衛生水準の向上に貢献してまいります。

1.事業計画

(公益事業)

区 分		令和7年度実績見込(注1)	令和8年度計画	備考
(1)産業保健事業	実施事業場	789	810	
(2)健康情報発信	健康情報誌	165,000	165,000	発行部数

(収益事業)

区 分		令和7年度実績見込(注1)		令和8年度計画		備考
(1)健康診断	一 般 健 診	227,071	40.9%	222,802	38.7%	人員
	協 会 け ん ぽ 健 診	133,890	24.1%	136,502	23.7%	〃
	生 活 習 慣 病 健 診	49,292	8.9%	48,885	8.5%	〃
	ド ッ ク 健 診	28,318	5.1%	28,906	5.0%	〃
	P E T 健 診	4,366	0.8%	4,296	0.7%	〃
	付 加 健 診 (注)	(289,636)		(261,158)		件数
	特 定 ・ 住 民 健 診	21,444	3.9%	33,024	5.7%	人員
	再 検 査 ・ 二 次 検 査	238	0.0%	667	0.1%	〃
	特 殊 健 診	90,772	16.3%	100,803	17.5%	〃
	外 来 診 療 (注)	(385)		(462)		〃
合 計		555,391	100%	575,885	100%	延べ受診人員(注2)
(2)環境測定	作 業 環 境	14,849	39.0%	16,219	40.8%	件数
	煙 道 ガ ス	546	1.4%	551	1.4%	〃
	石 綿	2,565	6.7%	2,831	7.1%	〃
	そ の 他	20,088	52.8%	20,158	50.7%	〃
	合 計	38,048	100%	39,759	100%	件数

(注1): 令和7年度実績見込は、令和8年1月迄の実績に基づき推計により算出。

(注2): 健康診断合計には、()内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、協会健診については付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

2.収益事業内訳

(1)健康診断

区分	科目名	令和7年度実績見込	令和8年度計画	備考
一般健診	定期①	157,059	158,165	
	定期②	14,244	8,137	
	特定業務	45,954	47,154	
	雇入時健診	9,814	9,346	
	小計(一般健診)	227,071	222,802	
協会けんぽ健診	一般健診	103,453	101,644	
	付加健診	7,563	7,587	
	乳がん	8,536	8,675	
	子宮がん	11,547	11,417	
	肝炎ウィルス検査	2,791	2,155	
	骨粗鬆症	0	3,505	
	喀痰	0	36	
	人間ドック	0	1,483	
	小計(協会けんぽ健診)	133,890	136,502	
生活習慣病健診		49,292	48,885	
ドック健診	日帰り人間ドック	27,528	28,132	
	一泊ドック	790	774	
	小計(ドック健診)	28,318	28,906	
PET健診		4,366	4,296	
付加検査(オプション)		289,636	261,158	
特定・住民健診		21,444	33,024	
再検・二次検査		238	667	
特殊健診	じん肺	7,896	7,823	
	歯牙	1,943	1,718	
	鉛	832	772	
	有機溶剤	18,422	23,925	
	特定化学物質	29,790	34,106	
	高気圧	400	350	
	電離放射線	3,487	3,044	
	石綿	2,770	2,817	
	その他特殊	24,787	25,908	
	特殊二次	219	91	
	管理手帳	226	249	
	小計(特殊健診)	90,772	100,803	
外来		385	462	

(2)環境測定

	科 目	令和7年度実績見込	令和8年度計画	備考
作業環境	粉じん	2,124	2,335	
	特定化学物質	3,714	4,085	
	金属	864	910	
	有機溶剤	4,516	4,909	
	騒音	1,307	1,461	
	照度	14	14	
	事務所管理	67	70	
	局所排気定期点検	815	901	
	作業環境診断	25	30	
	その他	1,404	1,504	
	小 計	14,849	16,219	
煙道排ガス	煤じん	123	129	
	硫酸酸化物	99	100	
	窒素酸化物	109	110	
	その他	214	212	
	小 計	546	551	
その他	排水	517	521	
	飲料水	50	50	
	産業廃棄物	47	47	
	その他	7,825	7,540	
	(特検)有機溶剤	11,649	12,000	
	石綿	2,565	2,831	
	小 計	22,653	22,989	
合 計		38,048	39,759	